令和8年度報告案と過去の報告との項目比較

参考資料1

H18年度　報告	H28年度　報告	R3年度　中間取りまとめ	R8年度　報告　案
1章　有明海・八代海総合調査評価委員会 1. 委員会設立の経緯 2. 小委員会の設置 3. 評価委員会の開催状況	**1章　有明海・八代海等総合調査評価委員会** 1. 委員会の経緯 2. 小委員会の設置 (1)生物・水産資源・水環境問題検討作業小委員会 (2)海域再生対策検討作業小委員会 3. 評価委員会等の開催状況	**第1章　はじめに** 1.1 有明海・八代海等総合調査評価委員会の経緯 1.2 有明海・八代海等総合調査評価委員会報告について 1.3 平成28年度委員会報告における基本的な考え方と再生目標 1.4 水産資源再生方策検討作業小委員会及び海域環境再生方策検討作業小委員会の設置について 1.5 中間取りまとめの位置づけ 1.6 中間取りまとめ作成の経緯について 1.7 中間取りまとめの構成	**1章　有明海・八代海等総合調査評価委員会** 1.1 有明海・八代海等総合調査評価委員会 1.2 有明海・八代海総合調査評価委員会報告 1.3 平成28年度委員会報告における基本的な考え方と再生目標 1.4 令和3年度中間取りまとめの概要 1.5 令和8年度委員会報告の構成 1.6 令和8年度委員会報告に係る検討状況
2章　有明海・八代海の概要 1. 海域の特徴 2. 漁業生産の概要	**2章　有明海・八代海等の概要** 1. 海域の特徴 2. 海域の背景 ※流域人口等、土地区分状況、産業構造の推移を記載		**2章　有明海・八代海等の概要** 2.1 海域の背景 2.2 海域の特徴 ※平成28年度委員会報告時に設定した海域区分の説明を含む
3章　有明海・八代海の環境変化 1. 汚濁負荷 2. 河川 3. 水質 4. 底質環境 5. 潮流・潮汐 6. 貧酸素水塊 7. 藻場・干潟等 8. 赤潮	**3章　有明海・八代海等の環境等の変化** 1. 汚濁負荷 2. 河川からの土砂流入 3. 潮汐・潮流 4. 水質 5. 底質 6. 貧酸素水塊 7. 藻場・干潟等 8. 赤潮 9. 生物	**第2章　有明海・八代海等の環境等の状況** 2.1 汚濁負荷 2.2 河川からの土砂流入 2.3 潮汐・潮流 2.4 水質 2.5 底質 2.6 貧酸素水塊 2.7 藻場・干潟等 2.8 赤潮 2.9 生物	**3章　有明海・八代海等の環境等の変化** 3.1 汚濁負荷 3.2 大雨、河川流量、河川からの土砂流入 3.3 潮汐・潮流 3.4 水質 3.5 底質 3.6 貧酸素水塊 3.7 藻場・干潟等【拡充項目】 3.8 赤潮 3.9 生物 3.10 気候変動による影響【新規・総説編のみ】
4章　問題点とその原因・要因の考察 1. 基本的な考え方 2. 問題点の特定と可能性のある要因 ＜連関図＞ 3. 問題点と直接的な環境要因との関連に関する考察 4. 直接的な環境要因の変化に関する考察 5. 環境と生物生産の中長期的な変化(有明海)	**4章　問題点とその原因・要因の考察** 1. 基本的な考え方と再生目標[全1頁] (1)基本的な考え方 (2)有明海・八代海等の海域全体に係る再生目標(全体目標) 2. 海域区分[全12頁] (1)海域区分の意義 (2)海域区分の方法 (3)海域区分図 (参考1)海域区分の基本的な考え方及び経緯 (参考2)海域区分間の物質収支の試算 3. 問題点とその原因・要因との関連[全4頁] 4. 問題点とその原因・要因の考察(海域区分毎)[全268頁] 5. まとめ[全49頁] (1)基本的な考え方と再生目標 ＜連関図＞ (2)有明海の個別海域毎の問題点と原因・要因の考察 (3)有明海全体に係る問題点と原因・要因の考察 (4)八代海の個別海域毎の問題点と原因・要因の考察 (5)八代海全体に係る問題点と原因・要因の考察		**4章　問題点とその原因・要因の考察** 4.1本章の基本的な考え方 4.2 問題点とその原因・要因の関連 ＜連関図＞ 4.2.1～4.2.5 主要5項目ごとの原因・要因の考察 ＜サブ連関図＞ (海域区分ごとの問題点とその原因・要因及び再生方策の実施状況等の整理は巻末資料(1)としてに掲載)
		第3章　再生方策等の実施状況等と課題の整理 ＜連関図＞ 3.1 生物の生息環境の確保 3.2 ベントスの変化 3.3 有用二枚貝の減少 3.4 ノリ養殖の問題 3.5 魚類等の変化	**5章　再生方策の実施状況等と課題の整理** 5.1 本章の考え方 5.2 再生方策の実施状況等と課題の整理 5.2.1～5.2.5 主要5項目ごとの再生方策の実施状況等と課題 ＜サブ連関図＞
		第4章　再生方策に共通する今後の課題 4.1 データの蓄積等科学的知見の充実 4.2 関係者による連携強化と情報の発信・共有の推進 4.3 再生目標と再生方策等との関連性の明確化と他事業等との連携強化 4.4 令和8年度委員会報告に向けた取組	**6章　再生目標に係る評価** 6.1 平成28年度委員会報告における再生目標 6.2 本章における評価の進め方 6.3 再生目標の達成状況の評価
5章　再生への取り組み 1. 再生の目標 2. 再生に当たっての環境管理の考え方 3. 具体的な再生方策 4. 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) 5. 取り組みの体制	**5章　再生への取組** 1. 再生方策の設定と本章の構成 2. 再生に向けた方策(再生方策)等の考え方 3. 再生目標と再生方策 (1)有明海・八代海等の全体に係る再生目標(全体目標) (2)個別海域毎の再生目標と再生方策 (3)有明海・八代海等の海域全体に係る再生方策(全体方策) (4)取組の実施に当たっての留意点 (5)継続的な評価 4. 今後の調査・研究開発の課題 (1)データの蓄積 (2)研究・開発 (参考)ケーススタディ (1)各ケーススタディの背景と結果概要 (2)各ケーススタディの内容		**7章　再生への取組** 7.1 本章の考え方 7.2 (R9年度以降の)再生目標 7.2.1 有明海・八代海頭における全体目標 7.2.2 中期目標及び再生方策 7.2.3 再生目標と再生方策の構成 7.2.4 再生方策と個別事業の関係 7.3 取組の実施に当たっての留意事項
おわりに 資料の出典リスト	おわりに 別表		巻末資料(1)　海域区分ごとの問題点とその原因・要因及び再生方策の実施状況等の整理 巻末資料(2)　評価委員会委員名簿